

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0177100260		
法人名	有限会社 フローラ		
事業所名	グループホーム 上砂川		
所在地	北海道空知郡上砂川町下鶉南2条1丁目3番地 (電話) 0125-62-5252		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年7月13日	評価確定日	平成19年7月30日

【情報提供票より】 (平成19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 2月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	15 人 常勤 11人, 非常勤 4人, 常勤換算6.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (20,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		700 円	

(4) 利用者の概要 (7月 13日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 78 歳	最低	60 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上砂川町立診療所、明円医院、砂川ファミリー歯科
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かな環境の中で、利用者一人ひとりの尊厳と自立を重視した介護サービスの提供が行なわれているとともに、利用者は区切られることのない時間を自己のペースでゆったりと豊かな表情で過ごしています。畑には、多種の野菜が植えられて草取りや収穫など趣味への支援が充実しています。玄関や居間などの共有スペースは家庭的雰囲気があり、利用者がゆっくりと過ごしたり談笑などして自由に過ごせる場となっています。食事の面も自然食材を使用し、常に美味しい物・馴染みの物の提供と利用者の安心・安全な生活の支援に日夜努力しています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>チームとしてケアを行なううえでの課題を解決するため、職員全員参加の定期会議について指摘しておりましたが、月1回以上開催しています。また、会議記録については、記録を残すことの意義を検討し、記録の適切な作成と工夫を期待します。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>職員全員が自己評価に参加し作成しています。今回の自己評価及び外部評価で表出した解決すべき課題や改善の方策について、「改善計画シート」を活用し計画的な取り組みを期待します。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、事業所の運営状況報告、町内会行事への参加、利用者の要望等が主な討議内容で、これにより地域の事業所に対する理解と運営に対する協力体制ができつつあります。今後、自己評価及び外部評価の結果を公表しながら、課題についての報告及び改善経過のモニター役を担ってもらいながら、課題解決への前向きな取り組みを期待します。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)</p> <p>家族には利用者のホームの暮らしぶりのほか、心身の様子や金銭の出納などについて、その都度・定期的に報告しています。事業所の運営に関する家族の意見等は、質の向上・改善への重要な検討の機会となるため、家族等から積極的に聴く努力と場面作りを期待します。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)</p> <p>地域の行事に積極的に参加し、カラオケやそば打ち等に誘われるなど地域に受け入れられ、利用者が地域で暮らし続ける基盤ができています。地域と事業所双方に必要とする活動・役割を担い、今後、地域とともに生きる住民の一員としての更なる取り組みを期待します。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの運営理念を重要事項説明書及び見やすいところに明示していますが、地域密着型サービスとしての理念の見直しや職員間での話し合いが行なわれていません。	○	地域密着型サービスとしての意義を全職員で確認し、ホームと地域の関係性を深めるようなホーム独自の理念を作り上げることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新人採用時には理念を伝え理解してもらえるようにしています。また、管理者は、会議や日々の話し合いの中で日常的に職員に理念を話し、職員も理解し実践で取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の諸行事（廃品回収、草刈り、地域のお祭りなど）にも積極的に参加しています。また、日常的な交流のほか、カラオケやそば打ち等に声掛けしてくれるなど交流は深まっています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での改善課題と取り組みについては「改善計画シート」に記載し改善に向けて取り組まれています。また、管理者及び職員全員で、自己評価に取り組んでいます。具体的な改善には至っていません。	○	自己評価及び外部評価のねらいや活用方法を理解し、評価で見出された課題について「改善計画シート」を活用しながら、具体的な改善計画と継続的な取り組みを期待します。

上砂川町 グループホーム上砂川

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、3回の開催があり、入居状況やケアサービスの内容、利用者の要望、地域に根ざした運営など話し合いがもたれており、会議で取り上げた見学会の開催やカラオケやそば打ち等への参加等が実施され地域との親交が深まっています。	○	今回のサービス評価の結果を運営推進会議の議題の一つとして取り上げ、さらに、サービス向上に生かされるよう期待します。また、2ヵ月毎の開催を確実に実施し、会議参加メンバーに利用者家族が入ることが望まれます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と、密に連絡を取り合って情報交換が行なわれています。また、隣接する市が運営する看護学校の研修生を多数受け入れています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員手書きの親しみやすいホーム便り「わけわかめ」や写真、金銭出納状況を毎月家族に送付し、利用者のホームでの暮らしぶりや健康状態等を伝えています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口については重要事項説明書に担当者と外部機関を載せ、ホーム内にも明示しています。介護計画作成時に家族へ送付し意見・要望を書いていただく返送紙も同封しているが、家族からの反応は少ない。	○	家族等が意見や不満、苦情等を気楽に伝えられる機会をつくり、ホームのサービスに反映させていく具体的な取り組みを期待します。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット内の異動は行なわれておりません。また、利用者への影響を最小限にするよう管理者をはじめ職員全員が配慮してコミュニケーション作りがなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は管理者を育成するための5ヵ年計画を立て、段階に応じた外部研修を受ける機会を設けています。また、管理者は研修報告をするとともに職員への個別指導も行なっています。	○	人材育成の取り組みを積極的に進められているが、一部の職員に留まっているため、今後は会社側で相応の負担(受講料、宿泊、交通費等)をしながら、全職員に受講機会が得られるよう計画的な検討を行ない、ホーム全体のスキルアップに繋げていくように期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ネットワークに参加しているが、同業者との直接的な交流はなされていません。	○	ホーム全体で話し合い、重要性を把握した上で同業者同士の交流を図る機会を設けることが望まれます。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には利用者と家族等にホームを見学して頂き、入居始めの期間はほかの利用者の状況にも配慮しつつ、信頼関係を築きながら本人が安心して生活できるよう支援されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの得意な事を見極め、声掛けを行ない場面づくりの支援が行なわれています。また、利用者の経験から料理や畑仕事等について教わる関係ができています。利用者の喜び・悲しみ・不安等を共有し、ともに支え合う関係づくりに留意し実践しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時にはセンター方式のアセスメントを実施し、生活歴を中心にした思いや願いを把握しています。また、日常生活の言動から新たな暮らし方の希望や思い等の把握に努めており表出困難な方には選択方式や表情などにより思いを確認しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は、家族の来訪時や電話にて本人・家族の意見・希望を聞くように努めています。また、郵送にて介護計画を家族へ送付し意見・要望を書いて頂き返送用紙も同封しその内容を介護計画に反映しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態変化と職員の新たな気づきや利用者や家族等の意見を踏まえ、毎月モニタリングを行ない、話し合いにもとづく臨機応変な介護計画の見直しが行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	希望する掛かり付け医への受診支援や外出・家族の宿泊・来訪時の食事など、利用者・家族等の様々な状況や要望に対し、多機能性を活かした柔軟なサービスの提供が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は、協力医療機関により訪問診療を受けるとともに、入居前からの掛かり付け医へは、家族と協力し通院介助が行なわれています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時の契約書・重要事項説明書等には、重度化や終末期に向けた明確な取り決めが明示されており、その都度の対応となっています。大まかな指針はあるが、職員間での今後の方針等についての話し合いは行なわれていません。	○	利用者の重度化や終末期の対応について、家族や医療機関とも相談しながらホームとしてどう最大の支援を行なうか具体的方策の検討が望まれます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者一人ひとりの性格を把握し、プライドを傷つけないような言葉掛けや対応に心掛けています。また、個人情報に関する書類等の管理も適切に行なわれています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所としての1日の基本的な流れはありますが、時間を区切った過ごし方はされておらず、常に利用者本位のペースが保てるような支援が実践されています。また、花壇や畑仕事は一人ひとりの希望を大切に、自由な時間に行なうよう支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際にはスタッフが同席して同じ食事を取りながら楽しく食事ができるよう支援しています。食事の準備や後片付けのほか、畑で作った野菜を持ってくる利用者や野菜の下処理、「だし」作り等、利用者の得意なこと・関心のあることを把握し、楽しみながら支援しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴支援が行なわれています。また、入浴を好まない利用者には無理強いせずシャワー浴や足浴を支援しています。夜間の入浴に対する対応はしていません。	○	利用者一人ひとりの生活習慣やその時々希望を大切にしたい入浴支援が可能となるよう職員ローテーションの工夫が望まれます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や身体状況、力量等を踏まえて裁縫・編み物・畑仕事・映画鑑賞など、一人ひとりの得意なことや興味のあることを引き出し支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの車がないため不定期ではあるが、利用者の希望に沿って、散歩や買物のほか、バスで送迎してくれるレジャー施設を活用するなど外出支援が行なわれています。	○	短時間でも戸外に出る機会をを作るとともに、外出場面を利用者と職員双方にとっての気分転換やストレス発散、五感刺激を得られるチャンスとして、計画的な外出行事の設定や、行き先の多様化を図り、外出機会を増やされるよう期待します。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は施錠していません。また、利用者が外へ出て行く気配を見落とさない見守りに重点を置き、さりげなく声を掛けて付き添う等の安全面への配慮もしています。		

上砂川町 グループホーム上砂川

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署と連携を取り避難訓練を実施し、その内の1回は抜き打ちで行なわれ実践的訓練も実施しています。しかし、町内会や地域住民への働きかけは行なわれておらず、協力体制を築くまでには至っていません。	○	運営推進会議等を活かし、地域住民の参加・協力を得ながらの避難訓練の実施や災害時に備えた物品の準備をすることが望まれます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ホームの管理者が調理師であり、常に美味しい物・馴染みの物の提供に努めています。また、一日を通じた食事量・水分量・栄養バランスなどを記録に残し、職員は一人ひとりの状態を把握しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	評価当日は広い玄関ホールで畑で採れた野菜の下処理を利用者数名で楽しげに行なっている様子がみられました。利用者は居室で過ごすよりも、ソファ・テーブル等が置かれた共用空間で過ごすことが多く、職員は利用者の心身の活力を引き出すために季節の物を飾る等の配慮がされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者本人が使い慣れた馴染みの家具・装飾品・手作りの品などが持ち込まれており、居心地良く過ごせる工夫がされています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。